

令和5年度自己評価結果（公表）

社会福祉法人白山優心会
 幼保連携型認定こども園
 白山こども園

1 園の教育・保育目標

昭和 31 年から積み重ねてきた保育実績を礎に「明るく心身共に健康な子どもを育てる」ことを念頭に、以下に示す理念を叶えるべく日々の教育・保育を実践する。

教育・保育理念

- ・命の大切さを知り、人のみならず草木や花、虫や小動物にも想いを寄せる優しい心。
- ・失敗から学ぶ力や、人と協力できる協調性。自分で考える力や、違う価値観を柔軟に受け止める心。
- ・食べるということは生きる喜び。生きてゆくために命を呈してもらった食べ物に対する感謝の心と関わったたくさんの人たちへの感謝の心。

子どもたちが目指す「みんなの目標」

- 1、 遊びを楽しむ子ども
- 2、 あいさつが素直に言える子ども
- 3、 感謝して食べる子ども
- 4、 優しい心をもつ子ども

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- 1、 子ども主体の教育・保育の提供。
- 2、 保育環境の配慮。
- 3、 子どもの主体性を重視した遊びの展開。
- 4、 職員の資質向上。

3 項目ごとの評価・検証

	職員点検	対象 14名
○	組織点検	園長・副園長

評価の該当欄に○記入

A：到達目標を十分達成している。適正。よくできている。そう思う。（優）
 B：到達目標を一応達成している。ほぼできた。一部検討。やや思う。（良）
 C：不十分なところもあるが、到達目標の最低レベルを達成している。（可）
 D：到達目標を達成していない。対象外。検討・課題・反省点多数。×。（不可）

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
1 教育・保育の計画					・PDCA サイクルが出来ない事が多く改善点を考えるがなかなか行動に移す事が出来ない。 ・毎年行っているから、という事にとらわれず、新しい発想で計画を立てつつ目標からも外れないよう工夫出来た。 ・〇 才児なりの個人に合わせた目標を立て、日々の様子なども考えて立案した。
園の基本理念・方針・目標を理解している。	6	6	2	0	
幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している。	5	5	4	0	
乳幼児の発達や実態に即したねらいや内容を設定している。（3歳未満児は個別計画作成等含む）	9	4	1	0	
PDCA（計画・実践・評価・改善）サイクルを用いて、質の向上・改善に努めている。	3	5	6	0	

項目	評価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
2 教育・保育の内容					<ul style="list-style-type: none"> ・園生活での約束事が守られていない時や危険な行動、行為があった時、その行為を禁止して終わるのではなく、どうしたら良いかを示す言葉を掛ける。 ・集団の生活ではあるものの、一人一人の気持ちを受け止め集団と個とのバランスを考慮し、対応する。 ・自分で遊びを選ぶ事が出来る遊びの展開の場面ではコーナー遊びを多様することが出来たが、遊べるものを選ぶのは職員だったので、もう少し工夫が必要だった。 ・一人一人の特性を理解する事は出来たが、それを生かした保育、主体性を大切にしたい保育を納得出来るほどできなかった。 ・遊びやパターンがマンネリ化しているため環境を整えたり、新しい遊びを取り入れるべきだと思う。 ・トラブルで危険につながりそうな時に呼び捨てしてしまった。冷静に対応すべきだった。 ・呼びかけの際に、言葉遣いを意識しているつもりでもマイナスな言い回しで声を掛けてしまうことがあるので、改善したい。 ・クラスの子どもの状態から、散歩を経験する機会をなくしてしまい、園外活動以外で、地域、社会と関わる事の出来る環境をなくしてしまった。もっといろんな経験を積むべきだった
子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心掛けている。	5	8	1	0	
子どもの名前は、呼び捨てにせず「くん」「ちゃん」で呼んでいる。	5	6	2	1	
「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている。	1	7	6	0	
「きれい」等、全否定する言葉を使わず、代わりに「にがて」等、受け入れる余地がある肯定的な言葉遣いを心掛けている。	9	4	1	0	
子どもの目線に立ち、気持ちや想いを大切にしながら対応している。	8	4	2	0	
一人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった教育・保育に努めている。	4	8	2	0	
身近な自然や地域、社会と関わるような取り組みをしている。	4	5	5	0	
子ども自ら遊びを選択し、主体性をもって自分らしさを確立していけるような環境設定や、声かけを行っている。	4	7	2	1	
非認知能力を高める教育・保育を展開している。	2	7	4	1	
遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。(社会的ルール・遊びのルール・お当番・異年齢交流など。)	6	4	4	0	
子ども一人一人の人格に配慮した関わりを心がけている。	5	7	2	0	
子どもの育ちや家庭環境に配慮した関わりを心がけている。	5	7	2	0	

項目	評価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
3 保健管理					<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が流行った時期に、玩具の消毒をもっと徹底すべきだった(以上児) ・コロナが5類になった事で、自分の中でも意識が薄れてしまい反省である。 ・毎日、子どもの健康状態を保護者の方に確認しているが、その他の事で気になった点があれば聞き改善していきたい。
保護者との引継ぎ時や日常での健康観察、毎月の身体測定、園医による健康診断を実施している。	11	2	1	0	
「健康・安全・発達の確保」を図るため園保健計画を策定し、計画に基づいて生活安全指導・健康指導を行っている。	8	3	1	2	
乳幼児の病気やケガ、疾病予防等の情報を「保健だより」等で情報提供している。	10	2	2	0	
感染予防対策として、設備・備品等保育環境の殺菌消毒を徹底して行っている。	8	4	2	0	

項目	評価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
4 安全管理					<ul style="list-style-type: none"> ・初めてブラインド型の防犯訓練を行って、たくさんの反省点や課題点が見えたので今後行っていきたい。 ・避難訓練の実施時間がいつも同じなので、様々な時間帯で行うとっと訓練になると思う。
園安全計画を策定し、毎月避難訓練(火災・地震・防犯・風水害)、交通安全指導を実施している。	8	4	1	1	
保育環境設備安全点検表で屋内外の設備や遊具・おもちゃ・備品の安全点検を実施している。	8	4	2	0	
園内事故記録書で事故やケガ等の記録をし、園内研修等を通して結果や改善点を職員が共有している。	9	4	1	0	
「さくら連絡網」を活用し緊急事態発生時の保護者連絡を確立している。	10	2	1	1	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
5 食育	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に食材を見せて、献立の説明をする事が出来た。 ・食事のマナーを、年齢、発達に応じて食事中だけでなく、保育の中に取り入れて教えるようにすれば良かった。 ・プランターでクラス毎野菜の栽培をやってみたものの、職員メインになってしまった。もっと子どもたちが関わられるように考えて進めると良かった。 ・0才児は、食べ物への興味が持てるよう、ままごとなどを使って食材の名前などを伝えたりした。
園の食育理念をよく理解し、子どもたちに伝えるよう取り組んでいる。	7	5	2	0	
子どもたちが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。	8	4	2	0	
子どもたちが食材やメニューに関心をもてるよう働きかけている。	7	6	1	0	
医師から指示があった場合、アレルギー状況に応じて適切な対応を個別に行っている。	10	2	2	0	
給食会議の中で給食担当者等と意見を交換し合い、連携して食育活動に取り組んでいる。	6	5	2	1	
食事のマナーを、年齢や発達に応じて教えている。	5	7	1	1	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
6 組織運営	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動の報連相が行き届かず、参加できない時があったので、ミーティング等できちんと周知する必要がある。 ・毎日のミーティングは実施されているものの、未満児クラスにおいては、メモによる回覧での報告が多く、回覧時間が午後になってしまう事も多々あり、緊急性、重要性の高い内容の事もあるので、伝え方の改善が必要である。
各係の担当、職務の分担を明確化し、管理責任体制の整備をはかり、職員間における報告・連絡・相談・確認の連絡、連携体制が整っている。	4	7	3	0	
協力体制の重要性を認識し、上司の指示・指導、同僚の助言に耳を傾け、素直に聞き入れ決定事項・規則・手続等を守ることができる。	7	4	3	0	
各種文書や個人情報（パソコン・USB含む）を適切に管理し、守秘義務の厳守・情報の取り扱い方針を周知徹底している。	9	3	2	0	
時間を厳守し、健康管理にも気を配り、職務に積極的に取り組むことができる。	8	5	1	0	
休日や就業外の個人の自由下においても、その言動（SNS等含む）には白山こども園の職員として、また社会人としてモラル・マナーをわきまえ理解し、行動している。	11	1	2	0	
毎朝ミーティングを行い、全園児の保護者との引継ぎ状況、出欠・遅刻・早退・疾病・健康状態等の情報をとりまとめ全職員周知している。	9	3	2	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
7 研修（資質向上への取り組み）	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修で様々な保育の考え方に触れられる事は自分のためにもなり、良い事だと思う。その後の保育にきちんと生かせるようにしたい。
園内研修・外部研修に積極的に参加し資質向上に努めている。	9	4	1	0	
外部研修の内容を、園内研修内で職員還元している。	7	4	2	1	
職員一人につき、年間を通してなるべく均等に研修機会を与えられている。	9	4	1	0	
園内研修は毎月（年間12回）実施している。	11	2	1	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
8 情報提供					<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについては、得意、不得意な職員がいるので、苦手だとクラスの事をお知らせするのがなかなか難しかった。 ・アップしても、父兄の方へのお知らせが不十分で、見てなかったという声も多々あったので、もっとわかりやすいお知らせ方法を考える必要がある。
園に関する様々な情報を、園だより・クラスだより・行事等を通して伝えている。	8	5	1	0	
ホームページを活用して、広く周知するための工夫をしている。	7	4	3	0	
園の外掲示板やホームページ等で、地域の人にも情報を発信している。	6	5	2	1	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
9 子育て支援（地域・社会との連携）					<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談で、父兄の方とゆっくり話が出来たことは、子どもやその周りの環境の事も知れる良い機会だと思う。 ・行事等で、父兄の方とのコミュニケーションをさらに深めていきたい。 ・土曜保育の子ども達と、外部から遊びに来た子ども達との交流があった事は良かった
様々な行事や日々の引継ぎ、懇談等を通して保護者とのコミュニケーション・相互理解に努めている。	7	6	1	0	
老人・小中高生との交流やボランティアの意義・方針を理解している。	7	4	3	0	
認定こども園として子育て支援が必須であることを理解している。	11	1	2	0	
園庭等を開放し、未就園児や地域の子どもたちに、憩いの場・交流の場を提供している。	10	3	1	0	

項 目	評 価				課題や改善を踏まえた対策・目標
	A	B	C	D	
10 環境整備					<ul style="list-style-type: none"> ・絵本コーナーをもっときれいに使う。 ・教材や玩具など、新しい物を取り入れたり出来たら良いと思う。 ・備品等の片付け忘れ、補充忘れがあったので、きちんと管理していく。
健康・安全かつ快適に生活できるよう、清潔感のある環境維持に努めている。	8	4	2	0	
絵本・教材・用具・用品を適切に活用し、点検整備・管理に努めている。	4	4	5	1	
教育・保育に従事する者は、人的環境であることを理解し、爪を短く切る。髪型・髪色や表情がわかるよう配慮された髪結いなど、清潔感のある身だしなみを心がけている。	9	3	2	0	
人的環境であることを理解し、子どもや保護者、同僚に対しその言動に十分責任をもって対処している。	6	4	4	0	